

かみ こう ち

上高地

(1506m)

年月日 : 令和7年3月2日 (日)

天候 : 雨、時々曇

所在地 : 長野県松本市

参加者 : 21名

記録者 : H・Y

定例山行

冬の上高地は混雑することなく、静かな銀世界が広がります。
梓川が流れる雄大な景観を楽しみつつ、大雪原の上を歩きます。

5:50 新富バスセンター出発。

GCL が、本日の日程と現地の様子・注意事項を話された。

7:10 道の駅上宝着。

7:30 トイレ休憩及び身支度 (靴・スパッツ等) 済ませて出発。

7:50 中の湯着。

下車後、最後の身支度を済ませる。ラジオ体操はせず、各自で準備体操。

8:10 釜トンネル入口。

この時期しか歩行出来ないトンネル内は積雪もなく灯もついて明るく、ヘッドライトは使わないで済んだ。約2kmのトンネル内を、これから始まる雪上トレッキングに思いを馳せ、和気あいあいと歩を進める。



季節限定 歩行者天国 !

8:55 釜トンネルを抜け、次に上高地トンネルを通り抜けた。

9:05 大正池、小雨が降りだす。

9:25 トイレ休憩の後出発。

10:10 休憩、アイゼン装着する。
大正池を迂回して梓川左岸コースを辿る、と GCL から連絡あり。



まさに幽玄の美 大正池

10:20 大正池を後に出発。
雪道に点在する動物の糞を避けながら、どんな小動物かな？どこで何を餌にこの厳冬を凌いでいるのかしら、等思いを寄せながら歩く。
雨の中（さすがに高志山の会のメンバー愚痴ることなく）黙々と乱れることなく進んだ。

10:25 帝国ホテルの赤い屋根が見えた。
雪にすっぽり覆われているが、リゾートホテルの老舗の風格が漂っていた。

10:40 中の瀬 トイレ休憩。
右に森林地帯。唐松林・イチイ・サルオガセ（糸状の地衣のエメラルドグリーンがモノトーンの空間を彩っている。
左に梓川の澄んだ水の流れを眺めながら、目的地を目指す。



サルオガセ

11:10 河童橋が見えてきた。

満員御礼が定番の河童橋（1506m）が、この時期・この雨で貸し切り状態。集合写真を撮った。

リーダーの方々が事前に下見をして下さっており、森林ビジターセンターの軒下で雨風を凌いで昼食を済ませた。



貸し切りの河童橋

12:10 GCL より、予定通り梓川右岸コースを帰路にすると連絡あり。
シーズンには大賑わいのリゾートホテル群が雪に覆われている。
ようやく雨がやんだ。

12:40 ウェストン碑。

この辺りで雲の隙間から
かすみざわだけ みょうじんだけ
霞沢岳や明神岳の姿を垣
間見ることができた。

ここで右岸コースから田代
橋を渡り左岸コースへ。



12:50 中の瀬 トイレ休憩。

そびえ立つモノクロームの山々

アイゼンのおかげで軽快に雪原を歩くことができた。

13:20 大正池。

水鳥を見つけて暫しバードウォッチングを楽しんだ。

山の斜面には雪崩のスノーボールが冬山の恐怖を見せてつけている。



エナガ



カワガラス



マガモ♂

13:50 トンネル手前でアイゼンを外した。

14:50 上高地トンネル・釜トンネルを抜け中の湯到着。

身支度を済ませてバスを待つ。

15:15 迎いのバスに乗る。

15:40 道の駅上宝着。

トイレ休憩 濡れた靴・雨具を脱いだ。

17:30 新富バスセンター着 解散。

GCL から本日の総括として、「生憎のお天気の中で 東の間の晴れ間に見えた霧沢岳・明神岳・^{ろっぴやくさん}六百山が印象に残った。参加者の皆様の協力で無事に終わることが出来た」と謝意の言葉があった。

悪天候の中、常に最善のルート設定をしてくださった役員の皆様に感謝申し上げます。サルオガセを紹介してくださったTさん、ありがとうございました。参加者の皆様、一緒に冬のトレッキングを満喫でき楽しい一日でした。ありがとうございました。

